市議会議員 あいざき佐和子 活動ニュース

ITAMI大好き！

95号
2018年8月

このチラシは、伊丹市議会議員“相崎佐和子”が、市政情報などをお届けしているニュース紙です。

毎月発行（年4回はカラーＡ３・その他はＡ４）しており、ポスティング・駅などでの配布・郵送などでお届けしています。

相崎 佐和子

議会改革の先進事例に学ぶ～議会改革特別委員会 視察～

7月4～5日、議会改革特別委員会で、議会改革の先進市である2市議会を視察しました。

■議会改革の意識が高い！ ～三重県 鈴鹿市議会～

まずは三重県鈴鹿市議会へ。全体的に議会改革が進んでいるとのことで、内容と背景を聞きました。

●特長①「常任委員会所管事務調査に基づく提言」：5つの常任委員会において毎年、所管事務（担当する内容）から調査事項をピックアップし、先進事例の視察や議論を経て提言書を市長に提出。翌年には提言内容の検証も。

●特長②「通年議会」：議会は年に4回（1回が1ヶ月程度）ですが、今年度より通年議会（1年中開催している議会）に。いつでも議案が審議できて委員会も開催できる状態に。

●他の議会改革の取り組み：議員倫理条例の制定（H10年策定。現在策定中の伊丹市議会に比べて早い）、一般質問時の質問資料のスクリーン投影、パソコンタブレットの議場持ち込み、高校生対象の議会報告会（H30年）など。

三重県と言えば、北川正恭元知事の時代に県議会が議会改革のトップランナーになり、県内の市議会も改革が進んだ地域。鈴鹿市議会いわく「周辺議会がドンドン取り組まれていますから」と。“議会改革は取り組むべき”という共通認識がベースにあるようです。改革の内容については、常任委員会の充実が興味深いところでした。委員会で当局に年に1回提言書を出しているとのこと。委員会全体での提言は重みがあることでしょう。 伊丹市議会も見習いたいものです。

■アイデア満載の市議会！ ～岐阜県 可児市議会～

次に岐阜県可児市議会へ。名物議長の川上議長を先頭に、アイデア満載の議会活動を展開中です。

●特徴①「正副議長立候補制」：正副議長選挙での立候補制は珍しくないが、質疑の導入や動画配信はレア（そもそも伊丹市議会は反対が多くて立候補制ですらない）

●特長②「議会改革の市民アンケート」：20歳以上の市民2000人に、議会改革についてのアンケートを実施。経費は全議員が政務活動費から支出。回収率は40%（市民アンケートにしては高い）

●特長③「決算委員会での提言を市長に提出」： 決算委員会で全会一致したものを市長に提言として提出。次の予算にフィードバックされているかもチェック。

●特長④「ママさん議会」：駅前の子育て支援施設の建設について、母親対象の議会・企画会議・ワークショップなどを実施。銀行ATMの設置、施設内での飲酒などの意見が採用される。同様に、こども議会・高校生議会も実施。

●その他の取り組み：議会報告会でのグループディスカッション、委員会と各種団体との懇談会など。

可児市議会は、とにかくアイデアと実行力がすごい。「どうして実行できるのか？反対する議員はいないのか？」と聞いたところ、「住民福祉の向上につながることは、全議員が理解する」とのこと。“議会改革の目的は住民福祉の向上”というシンプルで明快なスタンスに感服しました。